

子ども環境学習

環境について学ぶための取り組み

ユニーは持続可能な開発を目指し、現在のことだけでなく未来のことを考え、未来の子ども達そして地球の生き物達のために、美しい自然を残していくことを目標にESD(持続可能な開発のための教育)の考え方を取り入れた環境学習に取り組んでいます。2015年「持続可能な開発目標(SDGs)」が国連サミットで採択され、今後はESDが、持続可能な開発目標であるSDGsに盛り込まれることで、「持続可能な開発」への更なる貢献を目指していきます。

ユニーは、持続可能な社会をつかっていくために環境学習を実施しています。

ユニーは、持続可能な社会を担う子ども達がお店探検や農業体験・自然探検などを通じて、環境、社会貢献、食糧問題、命の大切さなどを学び、美しい自然の中で生きていくための「力」を育むことを願い活動しています。

- リサイクル工場見学**
 - 廃棄物がリサイクルされる現場を見学
- 地元NPOや地元企業とのコラボレーション**
 - 地域のいろいろな方から学ぶ
- 循環型農業体験**
 - 食品廃棄物が再生資源になる過程の見学
 - 循環型農業で収穫体験
 - いろいろな生き物と一緒に生きていることを学ぶ
 - 畑の恵みをいただく
- リデザインプロジェクト**
 - 「地球」「若者」「障がい者」とつながる



- エコロお店探検隊**
 - 地球に優しいお買い物
 - 廃棄物をリサイクルする仕組みの見学
 - ゴミを減らす取り組みの見学
 - 廃棄物を使ったエコ工作
- 夏休み自然探検隊**
 - 白川郷の自然の中で体験学習
- モンキーサマースクール**
 - サルの生態について体験学習
- インタープリター養成**
 - お店探検隊やエコ博で案内役(インタープリター)を行ってくれる人材を育成

ユニーの環境教育

ユニーでは、環境・経済・社会の調和を重視した、ひとづくり・ものづくり・コミュニティづくりを進めています。環境活動・社会貢献活動において、お客様、地域の方々、お取引先様、従業員などが一緒になって持続可能な社会をつくることを目指し、そして、お店に皆が集う地域のコミュニケーションスペースとしての機能づくりにも取り組んでいます。

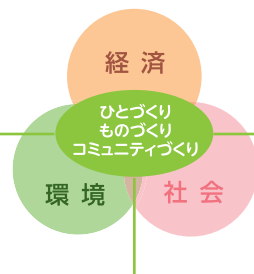
ESDに関するユネスコ世界会議(2014年)では「私達は本気です。大人のみならず、本気になってESDに取り組んでください」と子ども達が大人達へ真剣に呼びかけました。そして2年が経ち、子ども達の思いに応えるべく、世界中の政府、企業、研究者、NGO・NPOなどによって考え抜かれたのが「SDGs」です。ESDの取り組みは、目標4などの1項目だけでなく、SDGs全体について学ぶこともESDの一つの形態であると考えられます。



ものづくり

- ライフスタイルをエコにする環境配慮PB商品「eco:on」の開発。(P15~16)
- リデザインプロジェクトの実施。次世代と障がい者による商品の開発・生産・販売事業。(P44)

[eco:on] FSCノート



コミュニティづくり

- 持続可能な社会づくりのための参加型イベントエコ博。(P45~46)
- 認知症の方へのお買い物サポート。(P36)

エコ博エコロキッズ

ひとづくり

- EPOC講座の出前講座の実施
小学校や児童館などで出前講座を開催。身近なお買い物での賢い選択が持続可能な社会につながることを伝えています。(P32)

【EPOC】尾張旭市中部児童館

- なごや環境大学の市民講座でインタープリターを養成
小学生から大人まで多様な世代がお買い物を通じて環境について知り、共に「伝える」ことを学びます。(P32)

インタープリター講座

- 自然環境の素晴らしさや資源の大切さに気付く多様な体験学習を実施
エコロお店探検隊(P32)、夏休み自然探検隊(P33)、モンキーサマースクール(P33)など。

エコロお店探検隊

Voice 子どもが主役のSDGsプログラムに…。

みなさん、気づきましたか。ユニー環境レポートのページのあちらこちらに、四角いカラフルなマークが掲載されていることに。これは、2015年に世界が一つになって達成しようと決めた「持続可能な開発目標(SDGs)」の17の目標のマークです。ユニーが実践している環境学習は、持続可能な開発のための教育(ESD)そのもの。すべての命を育むための、今そして未来に生きる人達が安心して暮らすための「大切なまなびあい」。ユニーの社員が思いを一つにして、地域の子供達と取り組んでいます。これからやってほしいこと…。子ども達と一緒に17のマークをお店のあちらこちらにマーキングすること。それは、世界の目標を達成するために、子ども達といっしょに、世界とともに頑張っている証です。子ども達が主人公になって、子どもの発想によるユニークな活動を一緒に考え、実現していきたいです。



環境省中部環境
パートナーシップオフィス
チームプロデューサー
新海 洋子さん

エコお店探検隊

私たちの生活になくてはならないスーパーマーケット。そこではどんな環境への工夫があるのでしょうか？

2001年にたった1店舗からスタートした「エコお店探検隊」は、2016年には97回実施し989名が参加しました。持続可能な社会を構築するための体験を通じて、これからの未来を担う子ども達が地球環境を守り続けてくれることを願っています。

① リサイクルの秘密を知ろう

●リサイクルボックス

使い終わったあとの容器をリサイクルボックスに持ってきてくれると新しいものに生まれ変わります。



●バイオマスプラスチック

バイオマスプラスチックは植物由来のプラチック。野菜や果物、卵の容器として使用しています。



② 環境にやさしいお買い物をしよう

●eco:lon商品

環境配慮商品eco:lonの環境にやさしい秘密を知りましょう。



●環境ラベル

文房具にも実は環境にやさしい商品が沢山あります。



③ お店の裏側を探検しよう

●ゴミの計量体験!

従業員が動く、いつもは入れないお店の裏側では、ゴミを分別して計量しています。



●オリコン組み立て体験

段ボールを減らす取り組みとして、折りたためて何度でも使える「オリコン」を使っています。



④ エコ工作にチャレンジしよう

●リサイクル工作

普通ならゴミになる物を材料にしてリサイクル工作で生まれ変わります。



ピアゴエコクイズラリー

日常のお買い物に便利な食料品の品揃えを中心とした「ピアゴ」のお店では、子ども達自身がお店を回りラリー形式でクイズに答えていくことでユニーの環境の取り組みや環境に優しい商品を知ることができる「ピアゴエコクイズラリー」を実施しました。2016年には118店舗、2,679名が参加しました。



自由研究応援隊

「お買い物からCOOL CHOICE」をテーマに夏休みの自由研究のヒントになる展示や、実験、環境配慮商品の紹介を行いました。



地域のチカラで学ぶ

地域に密着したスーパーマーケットのユニーは、地域の方々と一緒に活動を行っています。地域のNPOやボランティアなどと協同で地域の子どもの環境学習を行っています。

◆インタープリター養成講座

2007年からなごや環境大学で「お買い物で地球を守る インタープリター養成講座」を開催しています。地球に優しいお買い物をテーマに、大人から子どもまで、講座の中でお買い物を通じて環境について知ってもらい、それを家族や友人などに伝えることを目的としています。講座を卒業した受講者はユニーのエコ博やイベントで活躍するインタープリターとなっています。



SDGsについて学ぶ



森の循環を学ぶ講座

◆環境紙芝居

2004年より名古屋学芸大学の学生さんと一緒に環境紙芝居を制作しています。肉声でお話を読むことで大人も子どもも家族で楽しみ、共感いただけるよう取り組んでいます。



環境デーなごやで新作紙芝居の上演

EPOC講座

ユニーは中部地区を活動拠点とする環境パートナーシップクラブ(EPOC)に参加しています。EPOCは業種や規模の垣根を越えた企業が集まり、地域社会で活動しています。ユニーが所属する「次世代交流分科会」では子ども達が分かりやすく学び、体験する講座を開きました。

ユニーは「環境にやさしいお買い物」をテーマにユネスコスクールをはじめとする小学校や中学校、地域の児童館へ出前講座、見学講座を開催しました。



[EPOC]あま市立基目寺小学校

次世代を担う子ども達に、自然の中に身を置き、自然の恵みや力、仲間とのつながりなどを体験しながら学んでもらうことで、これからの地球環境について考えるきっかけ作りを行っています。

夏休み自然探検隊

これからの未来を担っていく次世代の子ども達に、地球の自然を守って生きていくことの大切さを伝えていく活動をしています。2005年からアピタ・ピアゴ夏休み自然探検隊を継続開催し、「持続可能な社会」を担う子どもたちに、「先人」「自然」「仲間」とのつながりを通じて、自然環境の大切さを感じ、地球環境の中で強く生きていくための力を身につけてもらいたいと考えています。2016年は小学4年生～6年生24名が世界遺産白川郷で自然体験をしました。

先人 ～先人の知恵に学ぶ～



白川郷合掌集落
ガイドウォーク

展望台からの自然の恵みいっぱいの景色



自然の材料で建てられた合掌家屋

自然 ～自然の恵み、私達の暮らしと自然のつながり～



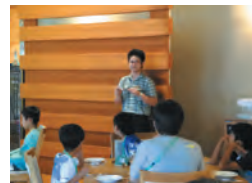
水力発電に挑戦。川の水流を利用して電球を点灯させよう(再生可能エネルギー)

水を水素と酸素に分解してクリーンな燃料エネルギーを作りCO₂を出さない燃料電池でミニカーを動かす(未来のエネルギー)



今年のテーマ「つながろう 自然と仲間と」を体験できました!

仲間 ～仲間と力を合わせる～



食事をより楽しむためのテーブルマナー講習

森の葉っぱや花でテーブルコーディネート。お世話になった方をおもてなし



森の小枝でオリジナルフォトフレームづくり!

モンキーサマースクール

公益財団法人日本モンキーセンターと共同で2011年よりサマースクールを開催しています。「ぼくの私の好きな生き物」をテーマに応募した23人と愛知県犬山市の日本モンキーセンターでキュレーターや飼育係の方と一緒に、人間に一番近い生き物であるサルを通じて命の大切さを学びました。

◆霊長類入門



いろいろなサルの生態を見学し霊長類の多様性を学ぶ



◆石器作り

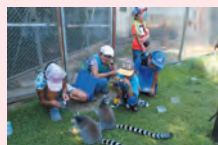
磨製石器づくりに挑戦。道具を作る大変さを体験



◆飼育体験



サルの種類に合わせ食べるものを準備



サルたちが仲間と一緒に食事をしている様子を観察

◆動物園の環境 エンリッチメント



サルたちの「あわせ暮らし」を考えエンリッチメントグッズ作り



キュレーターの方からサルの暮らし方を学び楽しみながら食事できる方法を考えた

※エンリッチメント…飼育されている動物たちの福祉と健康のために、飼育環境に変化をあたえること



サルを通じて色々な生き物と一緒に生きることの大切さ、生き物を思いやる気持ちを学んだ!

地域社会へ出前授業

地域に密着したスーパーマーケットのユニーは、地域の方々と一緒に活動を行っています。地域のNPOやボランティアなどと協同で地域の子どものための環境学習を行っています。

◆児童館

次世代を担う子ども達に向けて地域の児童館で出前講座を実施しています。



一宮市立起児童館

◆小学校

「地球にやさしいお買い物」をテーマに小学校へ向けて出前講座を実施しています。



名古屋市立八社小学校

◆中学校

リサイクルの取り組みのお話やecoionのコトPOP作成を行い、消費者から消費者へ「伝える」ことを実践しました。



私立愛知中学校

◆大学

日本福祉大学、専修大学、広島経済大学、名古屋市立大学、名古屋学芸大学などの大学生にも持続可能な社会について知ってもらいました。



名古屋学芸大学

◆地球温暖化コミュニケーター

地球温暖化に関する情報を人から人へ直接伝える「伝え手」となる講座の会場を提供し、学び、伝える活動を行っています。



講座の様子

◆名古屋市消費者教育

食品リサイクルやゴミの分別計量などの見学を行い、エコストアの取り組みを伝えました。



名古屋市中区生涯学習センター

コラボレーションで伝える

関連する事業者とコラボレーションし環境学習を行っています。食品リサイクルや容器包装リサイクルなどの様々なリサイクル活動を行っています。また、循環型農業を行っている農場や森に行き体験学習を行いました。

◆丸富製紙

丸富製紙では、店頭のリサイクルボックスで回収した牛乳パックを原料にしたリサイクルトイレットペーパーの工場見学を行いました。牛乳パックをリサイクルすることで森の木を切らずにすみ、森林を守るにつながります。



原反ロールの大きさに驚く

◆常葉大学 共同講座

常葉大学の山田辰美教授や大学生による「富士山の水のライフスタイル」についてのワークショップを行い、私たちの生活になくってはならない水について学びました。



常葉大学の山田教授による水のワークショップ

◆石川県能登の里山里海スタディツアー

世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」の魅力体験して学ぶ、親子スタディツアーを2011年から年2回開催しています。2017年春は志賀町の伝統工芸「貝細工」を体験し、ファーマーズレストランで地産地消を味わい、花のミュージアム「フローリー」でクラフト作りを楽しみました。



石川県能登の里山里海スタディツアー

◆中央化学

中央化学では店頭のリサイクルボックスで回収した食品トレイがどのようにリサイクルされているかを見学し、プラスチックの化学実験などを行いました。トレイをパレット等の原料にすることで石油資源の削減につながります。



店舗から集められた食品トレイ

◆SEF

公益財団法人Save Earth Foundationの協力で植樹・ネイチャーラフト体験を行いました。森に生息する植物や虫を見つけるゲームや、間伐体験、ヤマザクラの植樹、間伐材でスプーン作りなどを通じて自然環境の大切さを学びました。



木の年輪で樹齢を知る

◆循環型農業体験

店舗の食品売場から排出される食品残さを原料にして作った堆肥でお米や野菜を育て、店舗で販売しています。食品リサイクルによるたい肥に触れたり良い土から美味しい野菜が作られることを自分達で見て触って感じました。



D.I.D食品リサイクル工場の見学 不二産業の見学